

福井県における関係人口の取組み

（「福井とつながる幸せプロジェクト」成果報告）

あらかじめ、
幸せだったらいいな。



平成31年3月

福井県地域交流推進課

福井県は、教育環境の高さや女性の働きやすさ、安定した雇用環境などが評価され、多くの民間調査で**“幸福度日本一”**とされています。

人生100年時代と言われるなか、幸せの福井で、新しい「働き方」「暮らし方」をみつきたい方を**「関係人口」**として受け入れるプロジェクトを今年度からスタート

新たな活動フィールドに 福井県をおススメする **3**つの理由

- 1** 皆さんの力を活かせるローカルプロジェクトが盛りだくさん！
- 2** 日本のまん中。三大都市圏から2～3時間でアクセス可能！
- 3** 伝統工芸や食など、本物が残り、暮らしの本質が体感できる！



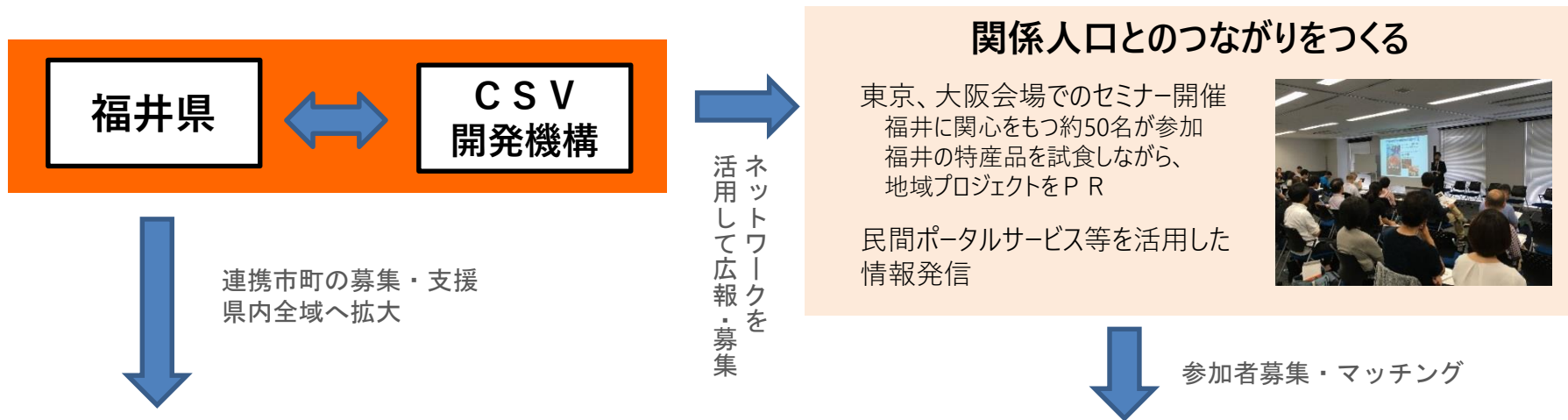
県・市町連携による事業スキーム

あらかじめ、
幸せだったらいいな。

幸せ度
いちばん
福井県

福井県では、人口減少社会においても地域の活力を維持するため、地域づくり活動の新たな担い手として関係人口の拡大をめざす

このため、C S V 開発機構と連携し、地方での活動やプロボノ活動に関心を持つ都市在住者を募集、地域とマッチングする仕組みを構築。市町は、関係人口との共動により地域が抱える課題を解決



関係人口を受入れる

福井市
リノベーションまちづくり

(受入れ・支援体制)
(株) まちづくり福井
〔事業運営兼メンター〕
リノベーション事業の専門家
等の講師陣 (11名)
※受講料免除

鯖江市
鯖江の魅力発信

(株) 応用芸術研究所
〔事業運営兼メンター〕
※交通費支給

美浜町
クリエイター-inレジデンス

(特非) ふるさと福井サポート
センター
〔事業運営兼メンター〕
町多拠点活動アドバイザー
(2名)
※移住体験施設の利用料
免除

若狭町
ソーシャルビジネス創出

(一社) 若狭路活性化研究所
〔事業運営兼メンター〕
※助成なし

福井市「DiscoverRe-FUKUI2018」

<地域の課題>

北陸新幹線開業に向け、福井駅周辺では複数の再開発事業が進展する一方、店舗オーナーの高齢化や職住分離により、**空き店舗**や**老朽化ビル**の建替が進まない。こうした中、2015年からリノベーションスクールを開催。**12件のリノベーション**を事業化

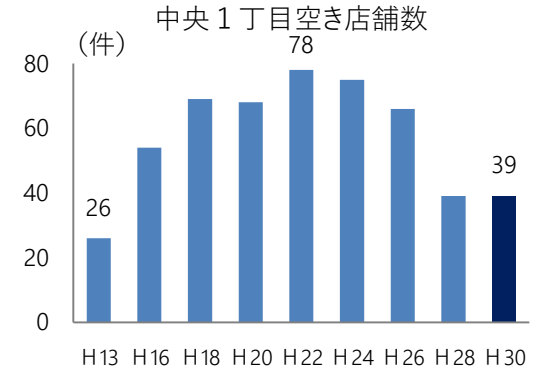


<プロジェクトの目的>

リノベーション事業の担い手を育成する実践型ワークショップを開催

<プロジェクトの内容>

約4か月間にわたる**実践型ワークショップ**において、地域の潜在力を引き出すエリアリサーチを行い、事業対象物件を選定。周辺エリアの魅力向上につながる**リノベーション事業計画**を策定する



(ターゲット像)

- ・都市計画、まちづくり、不動産企画、建築設計などに通じた人材
- ・ライティング、編集、デザイン、DIYなどのスキルをもつ人材

〔参加実績〕4名（首都圏在住）
※地元から13名が参加

(参加者の声)

- ・福井との人的ネットワークが途切れていたが、交流できる人ができたことは大きな収穫
- ・多拠点居住には採算の取れる事業が必須。出身地の福井で継続的な事業を続けたい

(受入れ団体の感想)

- ・無報酬、交通費無の条件の中、講師や受講生となって関わってくださり、スクール後もフォローに入ってくれていることに感謝しかない

福井市「Discover-FUKUI2018」

あらかじめ、
幸せだったらいいな。

幸せ度
いちばん
福井県

<カリキュラム>

第1回：テーマ「課題を発見する」

日程：9月1日（土）～2日（日）

内容：データの使い方・分析を学び、各エリアのまち歩きを通し地域の良さや個性等を調査。

潜在力を引き出すエリアリサーチを行い各エリアの課題を発見し、5年後の福井の町を妄想した内容を発表した。

第2回：テーマ「仕組みを考える」

日程：10月6日（土）～7日（日）

内容：各エリアのキーマン座談会、各エリアでのインタビュー調査を行い、各エリアの仕組みを考える。

1日目に、都心人材であるM氏から、講師として「エリア調査の意義・やり方」の講義を受け、レクチャー後は、受講生全員で質問項目を考え、街頭インタビューを行った。その結果を、受講生は事業提案の中に盛り込んでいった。

2日目に、I氏から、「事業計画の立て方」の講義を受けた。実例に伴う具体的な数字での講義だったため、受講生に大好評だった。

第3回：テーマ「事業を考える」

日程：11月3日（祝・土）～4日（日）

内容：3回目から、本設・仮設・妄想チームに分かれ、毎回中間プレゼンを行い、その都度講師陣より講評助言をもらい、事業計画を策定していった。

主に、数字で見るゲストハウス経営事情を学んだり、再開発とリノベーションの関係といった講義を盛り込んだ。



まち歩き



エリアの課題発表



都市人材（I氏）による講座



各エリアのキーマンインタビュー



まちのキーマンインタビュー

<カリキュラム>

第4回：テーマ「事業をデザインする」、中間発表

日程：11月24日（土）～25日（日）

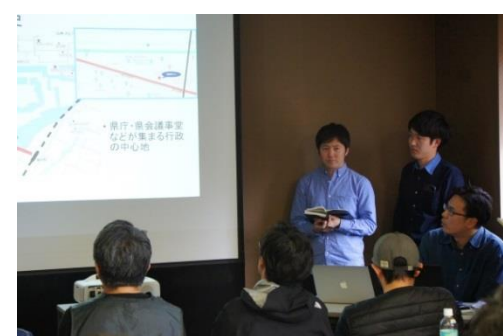
内容：毎回中間プレゼンを行い、その都度講師陣より講評助言をもらい、事業計画を策定していった。

第5回：テーマ「事業を発表する」、公開プレゼンテーション

日程：12月8日（土）～9日（日）

内容：公開プレゼンテーションを実施

- ・I氏また、受講生としても参加して頂き、チーム内では企画趣旨・事業計画を担当した。事業の提案内容としては、自主企画映画を製作し、そのストーリーに基づいて実際の店舗開業をめざす事業を提案し、エリアリノベーションとして効果的な提案をされた。
- ・S氏は、講師として、各チームの事業計画策定の助言を行った。



公開プレゼンテーション（@セレンプラネット）

鯖江市「鯖江“育職住”プロジェクト」

あらかじめ、
幸せだったらいいな。

幸せ度
いちばん
福井県

<地域の課題>

「**住みよさランキング**」で高い評価を受けるなど、眼鏡や漆器など、地場産業企業が安定した雇用を実現し、人口も県内で唯一増加を維持
一方、中小・零細企業を中心に、**若手人材の確保が困難**な状況
(平成30年4月の有効求人倍率は東京に次いで全国第2位)



<プロジェクトの目的>

都市人材を活用したものづくり企業の魅力発信の実施

<プロジェクト内容>

ものづくり企業を中心に取材を行い、多角的に企業の魅力を掘り起こすWebサイト「**さばえの仕事図鑑**」開設
大学生や若手社会人を対象に、取材企業等を見学するバスツアー「**鯖江“育職住”ツアー**」を2回開催

「住みよさランキング2017」トップ50

東洋経済『都市データバック』編集部

■「住みよさランキング」総合評価トップ10

順位	前年順位	都市名 (都道府県名)	総合評価 偏差値	順位				
				安心度	利便度	快適度	富裕度	住居水準 充実度
1	1	印西(千葉)	59.38	635	3	12	58	199
2	3	砺波(富山)	57.59	224	10	294	432	30
3	2	長久手(愛知)	57.50	196	32	2	32	723
4	7	かほく(石川)	56.65	152	33	78	577	44
5	4	野々市(石川)	56.64	11	1	54	252	764
6	13	魚津(富山)	56.63	108	41	313	299	101
7	6	鯖江(福井)	56.61	69	111	137	411	63
8	5	坂井(福井)	56.55	91	111	292	400	27
9	10	能美(石川)	56.36	58	456	38	240	91
10	11	守谷(茨城)	56.19	726	18	25	65	436



(ターゲット像)

企業経営やデザイン、広告・出版、ツアー企画等のスキルや人脈を有する人材
〔参加実績〕5名(首都圏在住2名、関西在住3名)

(参加者の声)

・密度の濃いプログラムに参加でき、多くの方と知り合えたことは大変有益で貴重な経験

(ツアー参加者の感想)

・内容がギッシリ詰まっており良い意味で「物足りなさ」を感じた。また鯖江に来たい

鯖江“育職住”プロジェクト事業都市人材全体会議

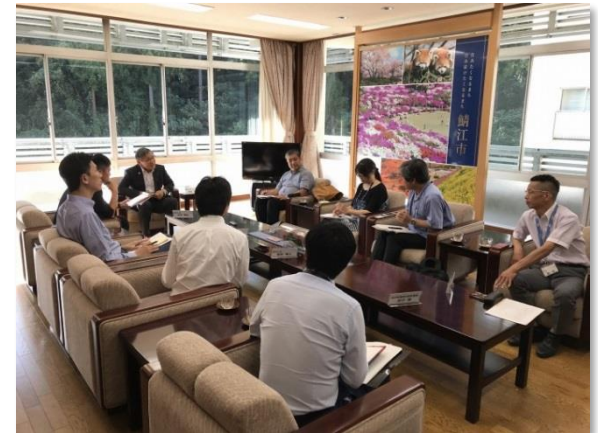
都市人材による **関係人口創出の取組み** に関する視察およびプロジェクトについての提案および意見交換を実施。

- ・うるしの里会館（越前漆器伝統産業会館）
- ・河和田アートキャンプ（古民家）
- ・合同会社TSUGI（産地デザイン会社）
- ・漆琳堂（西袋町701）
- ・めがねミュージアムおよびめがね博物館
- ・市長表敬（鯖江市役所）

開催日：平成30年8月27日（月）
参加都市人材：5名



河和田アートキャンプ古民家視察



鯖江市長表敬および意見交換

さばえの🔍仕事図鑑

経営者の声や仕事の紹介部分をwebにまとめ発信することにより、「求職者」向けには労働のための鯖江市内の企業情報を、「経営者」向けにはネットワークのための鯖江市内の企業情報を、「労働者」には自社の魅力再発見をそれぞれ提供。その他、育職住ツアーの参加募集なども実施。

開設日：平成30年8月27日（月）
掲載企業数：20社（眼鏡企業中心）
URL：<http://sabaee-job.jp>



鯖江市「鯖江“育職住”プロジェクト」

あらかじめ、
幸せだったらいいな。

幸せ度
いちばん
福井県

鯖江“育職住”バスツアー①（京都発）

JR京都駅前発～竹内光学工業(株)～昼食（こっしえるん）～西山公園・道の駅～めがねミュージアム（めがね会館）～(株)jig.jp～(合)TSUGI～Hacoa（山口工芸）～JR京都駅前着

開催日：平成30年9月11日（火）
ツアー参加者：22名
都市人材参加者：2名



地元食材を使用した昼食の説明



鯖江市に本拠地を置くIT企業による事業説明

（都市人材による感想①） 今回のツアー参加により、鯖江市における地方創生の取り組みや地場産業の現状などを感じることができ、非常に有意義な経験ができました。



都市部から移住した職人より説明を受ける都市人材

鯖江“育職住”バスツアー②（名古屋・彦根発）



眼鏡レンズ製造業者の作業現場を見学

JR名古屋駅前発～JR彦根駅前発～(株)ポストクラブ～昼食～2班に分かれてRENEW（地元参加型クラフトマーケット）見学～(株)ヤマト工芸～JR彦根駅前着～JR名古屋駅前着

開催日：平成30年10月20日（土）
ツアー参加者：15名
都市人材参加者：3名

（都市人材による感想②） 密度の濃いプログラムに参加できたおかげで、ツアー先の事業者の方々など大変多くの方々と知り合い、また意見交換ができたことは大変有益であり、どれもが貴重な経験でした。

<地域の課題>

美浜町では、少子高齢化による人口減少とともに**空き家の増加**が顕著。このため、町の魅力を最大限PRしながら、交流人口さらには関係人口の拡大を図っていくことが必要



<プロジェクトの目的>

創作活動を通じた美浜町の魅力の発掘と発信

<プロジェクトの内容>

クリエイターの視点から、美浜町の**地域資源や伝統・文化等を掘り起し**、商品開発やイベント企画等につなげる

創作活動やSNS等を通じて美浜の魅力を発信

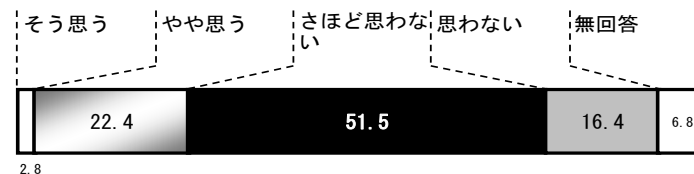
空き家数（戸）

H24	H27	H29
231戸	274戸	294戸

夏季の観光客数（述べ人数）（人）

H18	H22	H26
444,000人	440,000人	410,000人

活気のあるまちであるか？



(ターゲット像)

- ・芸術関係のクリエイターまたはフードクリエイター
- ・SNS等を活用した情報発信で影響力をもつ人材
- ・フリーランサーなど、美浜町を地方活動の拠点にできる人材

〔参加実績〕1名（東京在住）

(参加者の声)

- ・東京にはない自然やゆっくりした時間は非常に素晴らしい

(受入れ団体の感想)

- ・著名な方に美浜町に来てもらい、事業者等との繋がりをつくるきっかけづくりができた。商品開発に向けた今後の事業発展に期待する

< 町内企業等を訪問 >

地域との交流を持つために町内の企業等を訪問し、その中で企画を提案等

日時 … 平成30年7月17日～19日、8月14日

場所 … 企業等（企業... 4件 役場... 1件）



認知症予防ツール開発の提案



店舗に飾るオブジェ等の提案



商品のパッケージデザインの提案



お土産用のへしこのパッケージの提案



認知症予防ツール開発の提案

今後、参加者と共にプロジェクトが進むことにより、新たな商品開発や美浜町のPRにつながることを期待

若狭町「若狭ソーシャルビジネスカレッジ」

<地域の課題>

若狭町は**農業**や、**民宿業**と兼業した**漁業**が中心的地域産業であるが、担い手は減少が続き、**基幹産業の衰退**に直面する。県全体のペースを上回る人口減少・少子高齢化が進む中、地域社会・経済の活力維持が課題



<プロジェクトの目的>

新たな地域の魅力の発見と里山里海湖ビジネスの創出を目指す

<プロジェクトの内容>

1泊2日×5回の**ビジネスカレッジ**を開講。フィールドワークやワークショップ等により、若狭町の地域課題や資源を地域住民とともに調査・分析
地域で活躍する人物やU・Iターンした若者の経験談等を通し、受講者の経験やスキルの活かせる生業を検討

	H17	H22	H27 (H17比)
農業者数	922人	816人	724人 (△21.5%)
漁業者数	67人	52人	57人 (△14.9%)
民宿軒数	112軒 (H19)	99軒	90軒 (△19.6%)



(ターゲット像)

地方生活に興味を抱く都市在住者

〔参加実績〕3名（東京在住2名、大阪在住1名）

※地元から移住者8名が参加

(参加者の声)

- ・個人的には繋がれない地域の方々と知り合うことができて良かった。
- ・地域外の方とさまざまな意見を交換し合うことで、とても良い刺激を受けることができた

(受入れ団体の感想)

- ・参加者だけでなく、地元住民にとっても刺激や発見があり、双方に良い効果があった

若狭町「若狭ソーシャルビジネスカレッジ」

あらかじめ、
幸せだったらいいな。

幸せ度
いちばん
福井県

フィールドワークやワークショップを通じて地域の課題や魅力を調査・分析し、新たな地域の生業を生み出し、実現するための学びの場として、1泊2日のカレッジを開講

第1回 地域を知る - 地元学 -

日時：7月7日～8日

内容：地域調査の手法である「地元学」を学び、地域住民とともに集落をまわり、海、里、湖の暮らし調査を行った。

それぞれの集落の歴史を知り、共通点や現在との違いについて話し合った。

感想：一見しただけでは到底知りえない、集落の歴史や成り立ちを知る事ができた。



地元住民とのフィールドワーク

第2回 自然を体験する

日時：9月1日～2日

内容：若狭三方五湖周辺で自然を活用したビジネスのひとつとして、カヤックやサイクリングツアーを体験し、ツアーの仕組みや料金設定等、ビジネス化する上で必要な考え方について学んだ。

感想：事業を立ち上げ、継続していくためには、お金の問題はとてもしビアに考えなければならないとあらためて感じた。



若狭湾でのカヤックツアー体験

第3回 人を知る

日時：10月6日～7日

内容：人のライフヒストリーを聞き、書き起こしていく「聞き書き」の手法を学んだ。さらにグループに分かれ、3名の地元のお年寄りのライフヒストリーを伺い、聞き書きを実践した。

昔の地域の姿や人々の暮らし方について知ることができた。

感想：「聞き書き」という手法は、単に「知る」だけでなく話し手と「つながる」という意味もあり、とても興味深かった。



地元のお年寄りにお話を聞く

第4回 先輩活動者との交流

日時：11月3日～4日

内容：地元出身で、地元で活躍する若い世代に話を伺った。
企業や会社経営について、志や展望、課題等についての話を聞き、
参加者の今後の計画を考えるにあたっての参考となった。

感想：経営者の方の想いを聞いて共感できる部分がたくさんあった。
あとはPR方法が課題。



地元企業経営者へのインタビュー

第5回 自分を見つめる - セルフデザイン -

日時：12月1日～2日

内容：半農半Xを提唱されている塩見直紀氏を講師に招き、ワークショップを
開催した。各自が自分の興味関心をあらためて掘り起こす
「自分資源の発掘」、地域でのビジネスの可能性を考える「地域資源の
発掘」というテーマでワークを行い、意見交換を行った。

感想：今回のワークで新たなアイデアやコンセプトが生まれたので、さらに深め
たいと思った。



ワークショップで新事業の可能性を探る

【参加者の果たした役割】

よそ者の視点、かつ、知りたい・教えてほしいという謙虚な姿勢が、地元の協
力者にとっては受け入れやすく、参加者から良い刺激を受けていた。

このような関係を築いていくことは、双方が協働した新たな事業が創出され
る土壌づくりとなるため、非常に有益なことである。

【提案など】

事業や取り組みについてのPR方法について、もっとターゲットに近い媒体を用
いて戦略的に行うべき、という提案があった。



プロジェクトの成果

福井市

福井市において全5回の講座を開催。都市部在住の参加者を含む受講生が**3件のリノベーション事業計画**を策定

(提案事業)

- ・学生とクリエイターの活動拠点となる元ドレス学校の再生プロジェクト
- ・再開発エリアの歴史を伝える「おくりびる」プロジェクト
- ・自主製作映画のシナリオに沿った商店街のエリアリノベーション



鯖江市

20社の企業情報を掲載した**Webサイト開設**、京都・名古屋発着の**バスツアー実施**により、鯖江の魅力発信を強化

(主な成果)

- ・「鯖江の仕事図鑑」に約5,000件のアクセス (平均約40件/日)
- ・バスツアー参加者37名。うち3名の移住や就職相談につながった



美浜町

高級宝飾ブランド等のインストラクターを務める**デザイナー**が美浜町での**多拠点活動を開始**

5件の企業等とのマッチングを実施

※プロジェクト参加に至ってないが、大阪でのセミナー参加者が移住体験施設を利用するなど、来年度に向けた関係づくりも進められた



若狭町

若狭町において全5回の講座を開催。都市部在住の参加者を含む受講生が**新たなソーシャルビジネスを提案**

(9名が各2件のソーシャルビジネス提案)

(提案事業)

- ・元民宿の複合的活用 (コミュニティFM局の開局、集落体操クラブ)
- ・瞑想ツーリズム、agriculture×surf文化をコンセプトとしたモノ・コトづくり & 発信



目指す姿

幸福度日本一の福井をフィールドに『新ふるさと県民』が活動・活躍

都市部の学生・社会人を積極的に受け入れ



人口**減**でも人材**増**の地域づくり

あらかじめ、
幸せだったらいいな。

幸せ度
いちばん
福井県